

工 事 紹 介

関西電力送配電(株)殿向け 154 kV 防蟻剤入り防蟻 CV ケーブル工事

Installation Work of 154 kV XLPE Cable with Termite-prevention PVC for Kansai Transmission and Distribution, Inc.

1. 概 要

当社は 154 kV の防蟻剤入り防蟻 CV ケーブルを関西電力送配電株式会社殿に納入しました。

図 1 に示すとおり、大阪市にある S 変電所から住吉川、大和川を横断し、堺市の M 変電所間を結ぶ長尺線路です。

154 kV 級でケーブルサイズの大きい防蟻剤入り防蟻ケーブルは初納入であり、ケーブル布設区間も約 3000 m と大規模な工事となります。



図 1 線路概要図

2. ケーブル仕様

ケーブル仕様は当社が新しく開発した防蟻 PVC シース材料を用いた 154 kV CVSS-AT (AT: Anti-Termite agent) $1 \times 1200 \text{ mm}^2$, 1500 mm^2 となります。新しい防蟻 CV ケーブルの特徴や製品詳細は当社ホームページにも載せておりますので、そちらも参照願います。

3. 防蟻剤入り防蟻 CV ケーブルの特徴

従来の防蟻ケーブルは CV ケーブルにナイロン材料による防蟻層を施すため、ケーブル外径が大きくなり、また硬いナイロン材料を有することで可とう性が劣ります。そのため、輸送ドラムや布設時のケーブル曲げ半径、マンホール内のオフセット部などで曲げ倍率を大きく確保する必要があります。

防蟻剤入り防蟻 CV ケーブルは防蟻剤入りのビニルシースを使用することで、硬いナイロン材料を使用せず一般的な CV ケーブルと同等の可とう性・細径化を実現しております。上記の特徴によりオフセットスペースや輸送ドラムの縮小化が期待でき、本件名の様に長尺線路でケーブルサイズの大きい場合、特に輸送費のトータルコスト低減や可とう性向上による作業性向上に寄与します。

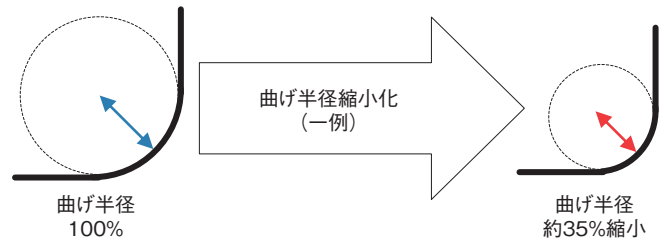


図 2 曲げ半径縮小化概要図

4. ケーブル布設工事

ケーブル布設工事の状況を図 3 に示します。

通常のナイロン防蟻ケーブルの場合は布設時の曲げ半径として 30 D 程度を確保する必要がありますが、本ケーブルは普通シースと同じ 20 D で布設できるため、機装を含めた延線設備を小さくできました。

また、くせ取り時にナイロン防蟻にシワが入ったりすることがないため通常のケーブルと同じように取り扱ってよいといったメリットもありました。



図 3 防蟻 CV ケーブル布設状況

問合せ先：〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-16(アケア堂島西館)
昭和電線ケーブルシステム(株)
関西支店 営業課
電話(06)6345-1151 FAX(06)6225-8771